

第2章 秦野市の健康に関する現状

第2章 秦野市の健康に関する現状

Ⅰ 人口・世帯・就業などの状況

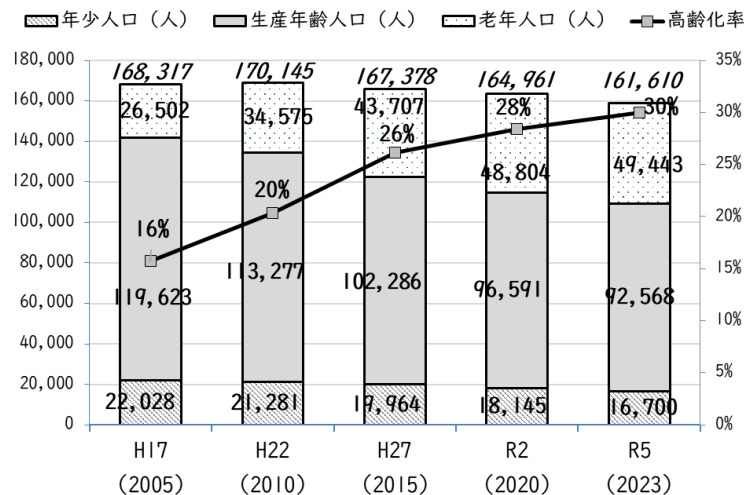
(1) 年齢3区分別人口の推移

総人口は、平成22（2010）年の170,145人をピークに緩やかな減少傾向にあります。年齢3区分別人口は、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）は年々減少しており、老年人口（65歳以上）は年々増加しています。高齢化率は、年々増加しており、令和5年度に30%となっています。

※表やグラフについて

小数点以下、四捨五入の関係で、各カテゴリーの数値合計が一致しない場合や、パーセントの合計が正確に100とならない場合があります。

図表 1-1 総人口・年齢3区分別人口と高齢化率の推移

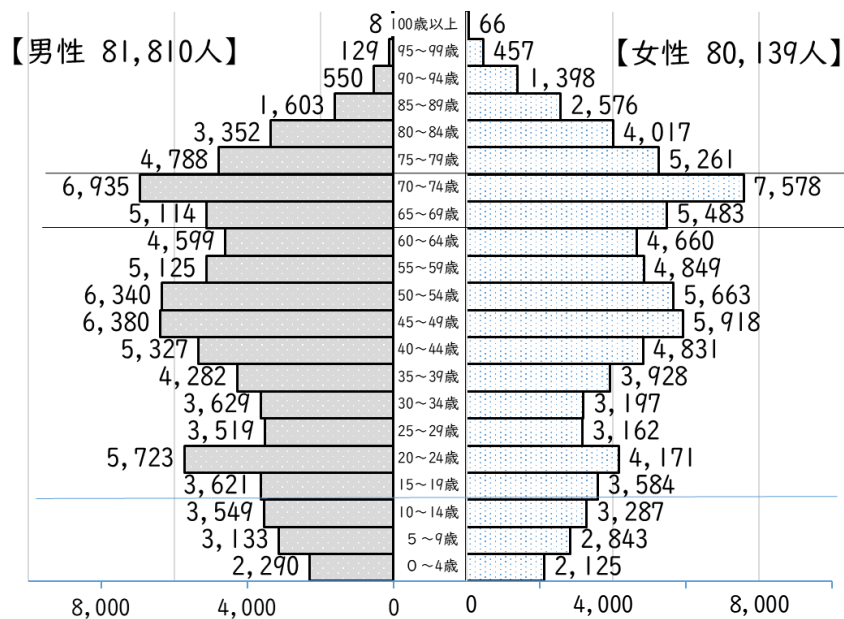


出典：秦野市統計データ

(2) 男女別人口構成比

令和4年1月1日現在の男女別人口構成は、年少人口（0～14歳）では男性が717人、生産年齢人口（15～64歳）では男性が4,582人、老年人口（65歳以上）では女性が4,357人それぞれ多くなっています。特に、75歳以上の後期高齢者では女性が3,345人多い状況です。

図表 1-2 男女別人口構成比

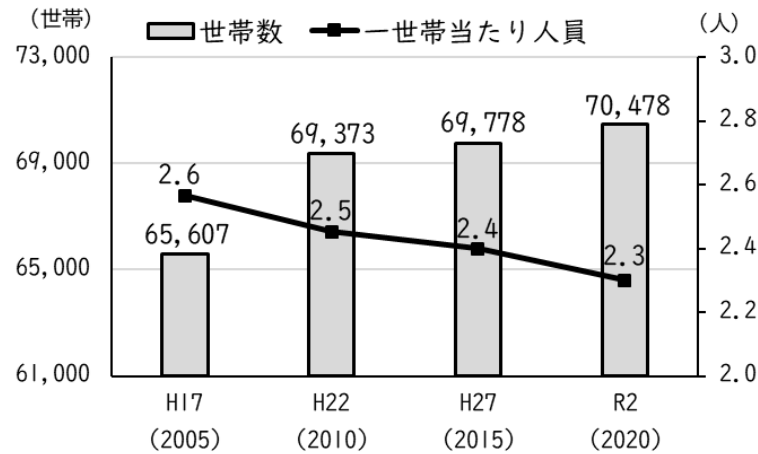


出典：秦野市統計データ（国勢調査）

(3) 世帯数の推移及び世帯構成

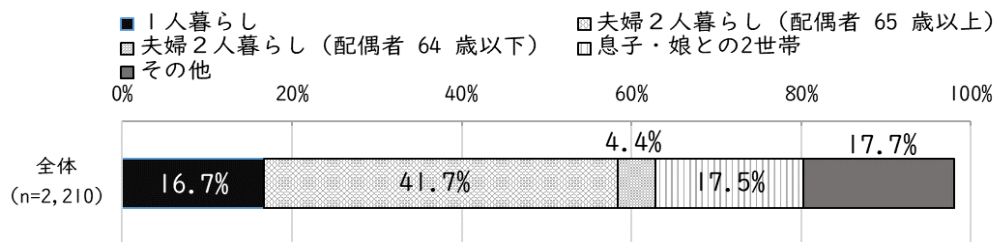
世帯数は、増加傾向にあります。一方、一世帯当たりの人員は、年々減少傾向です。

図表 1-3 世帯数と一世帯当たりの人員の推移



出典：秦野市統計データ

図表 1-4 世帯の構成員



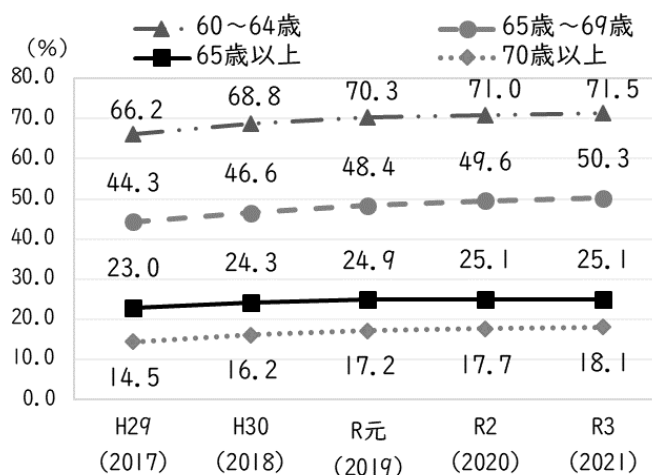
出典：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（令和4年度）

(4) 高齢者の就業率及び就労業種

全国における、令和3年の65歳以上就業率は25.1%となっています。本市においては、令和2年の国勢調査で、65歳以上就業率は22.1%となり、神奈川県と同様の値となっています。

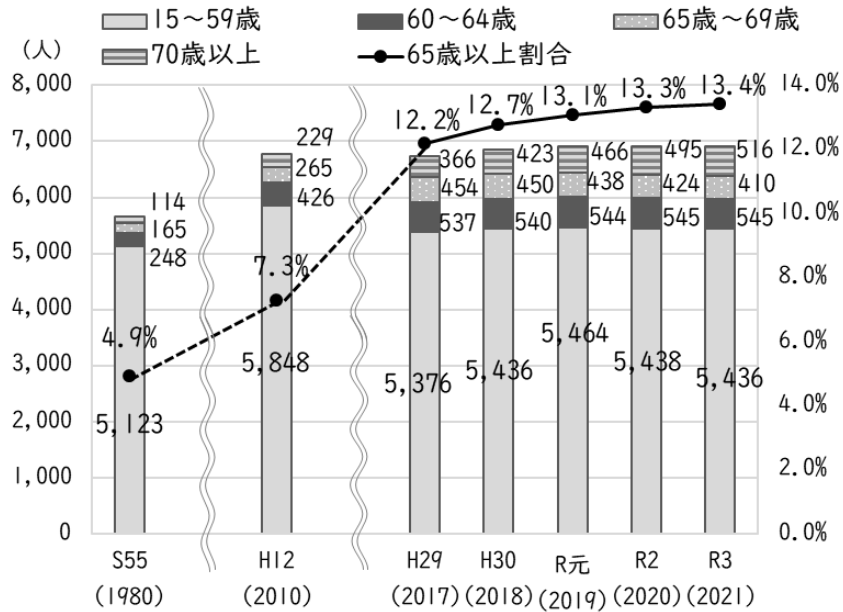
また、15歳以上の就業者総数に占める高齢就業者の割合は、近年上昇し続けており、令和3年（2021年）では13.4%、約7人に1人が高齢の勤労者です。

図表 1-5 年齢階級別就職率の推移



出典：総務省統計局HP 労働力調査（基本集計）より秦野市作成

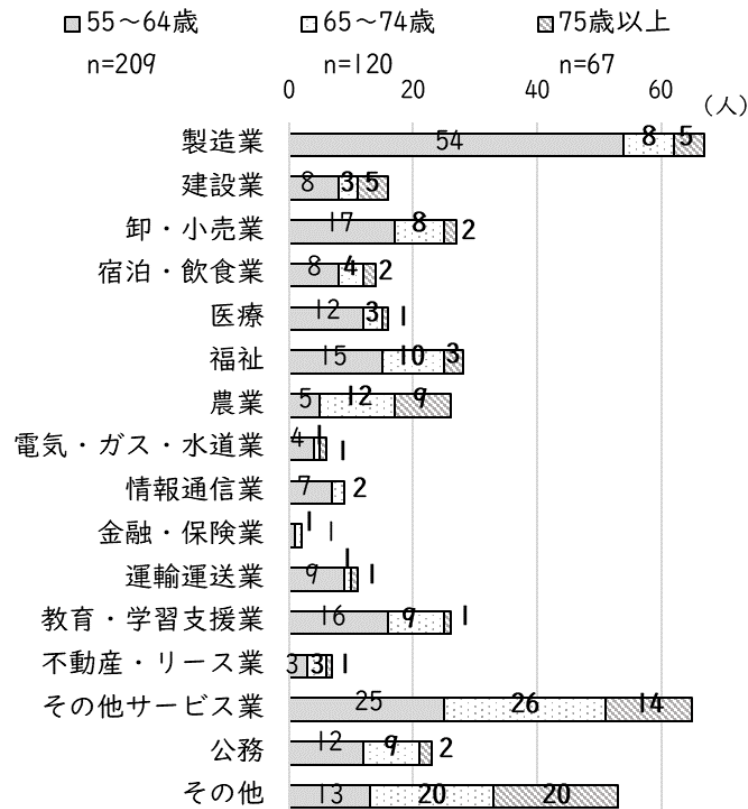
図表 1-6 労働力人口の推移



出典：内閣府 令和4年度版高齢社会白書より秦野市作成

また、高齢勤労者が就労している業種については、製造業、その他サービス業が多くなっています。

図表 1-7 高齢勤労者の就業業種



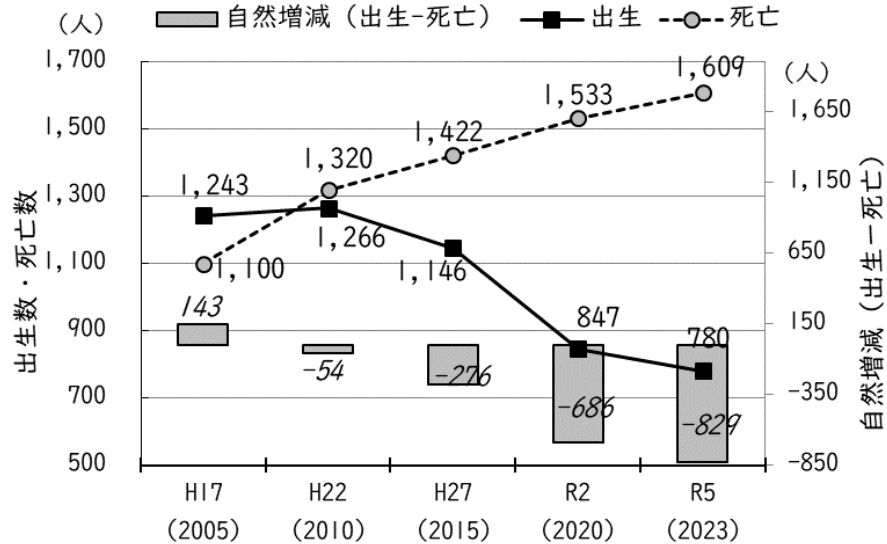
出典：高齢者ニーズ調査報告書（令和3年）より健康づくり課作成

2 出生・死亡などの状況

(1) 出生数・死亡数及び自然増減の推移

平成22年に、出生数と死亡数が同数に近くなり、その後、自然減少が続いています。

図表 1-8 出生数・死亡数の推移

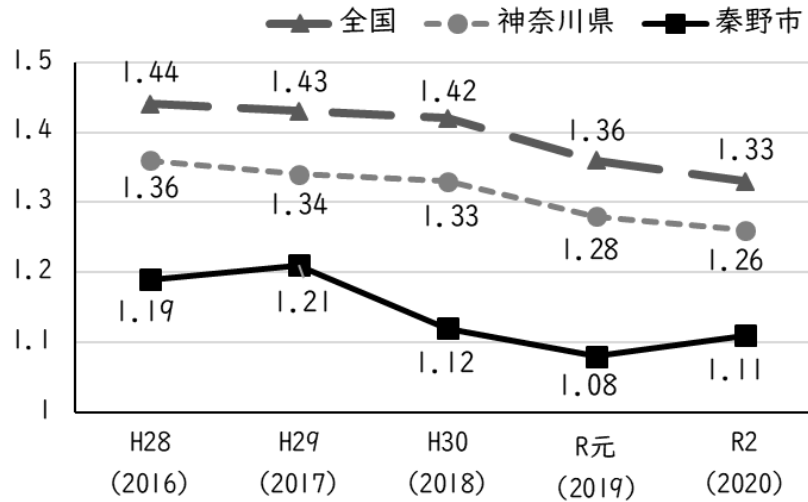


出典：厚生労働省 人口動態調査 及び 神奈川県 年齢別人口統計調査

(2) 合計特殊出生率の推移

平成28年以降、増減を繰り返し、令和2年は1.11となり、国1.33、県1.26に比べると、低率な状況が続いています。

図表 1-9 合計特殊出生率の推移



出典：神奈川県衛生統計年報（市、県）、厚生労働省 人口動態調査（国）

(3) 主要死因別死亡状況

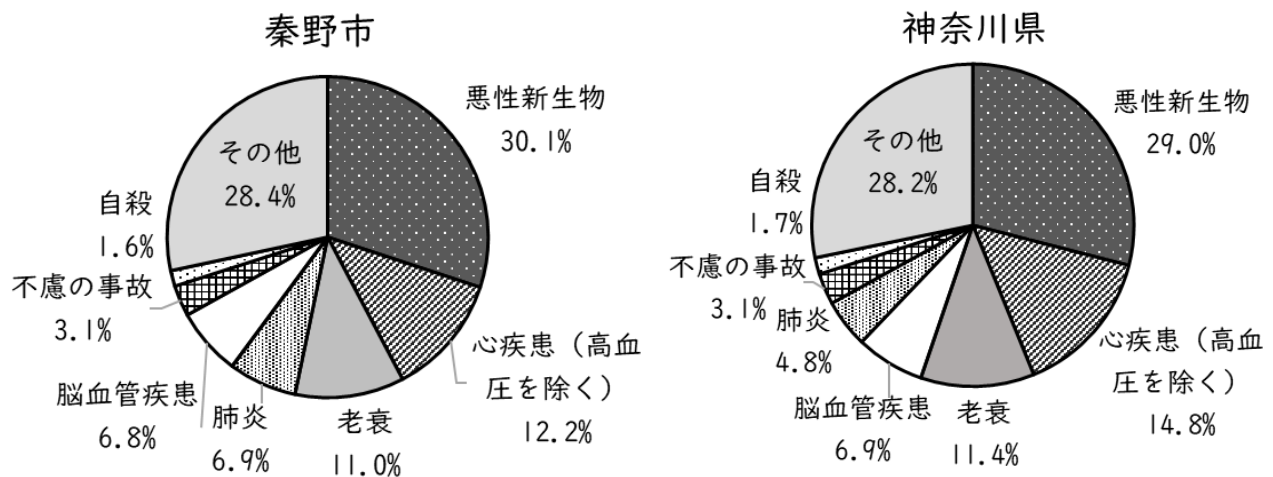
令和2年の主要死因別で死亡の第1位は悪性新生物（がん）であり、30.1%を占めています。第2位は心疾患、第3位は老衰、第4位は肺炎となります。生活習慣病に関連した死亡は、全体の49.2%を占めています。

図表 1-10 秦野市の主要死因別死亡件数及び割合

	平成28年 (2016)		平成29年 (2017)		平成30年 (2018)		令和元年 (2019)		令和2年 (2020)	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
悪性新生物	459	32.0	432	30.0	457	29.4	449	29.4	473	30.1
心疾患（高血圧除く）	187	13.0	215	14.9	211	13.6	194	12.7	192	12.2
脳血管疾患	107	7.5	90	6.3	120	7.7	127	8.3	107	6.8
肺炎	122	8.5	118	8.2	119	7.7	106	6.9	108	6.9
老衰	89	6.2	123	8.5	124	8.0	153	10.0	173	11.0
不慮の事故	59	4.1	45	3.1	51	3.3	48	3.1	49	3.1
自殺	28	1.9	20	1.4	34	2.2	27	1.8	25	1.6
その他	385	26.8	397	27.6	436	28.1	423	27.7	446	28.4
総死亡数	1436	100	1440	100	1552	100	1527	100	1573	100

出典：神奈川県衛生統計年報

図表 1-11 主要死因別死亡割合



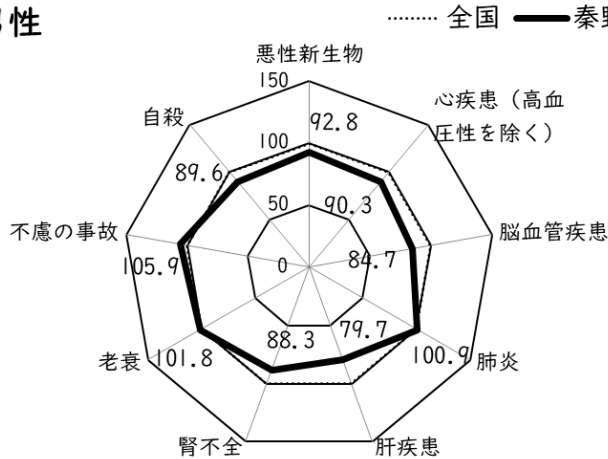
出典：R2 神奈川県衛生統計年報

(4) 主要死因の標準化死亡比（SMR）

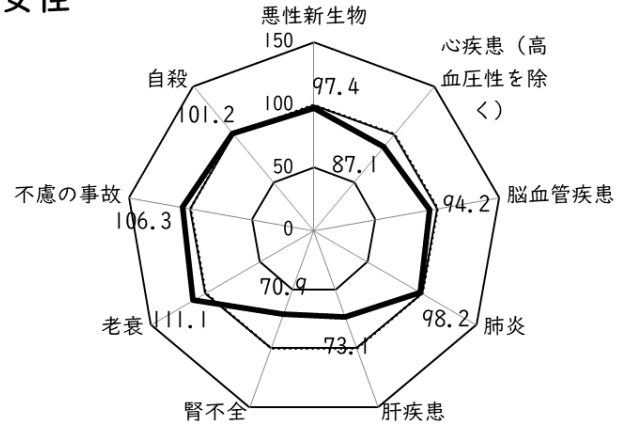
標準化死亡比は、全国を基準（＝100）とした場合に、その地域での年齢を調整したうえでの死亡率（死亡の起こりやすさ）がどの程度高い（低い）のかを表します。本市では、男女ともに「不慮の事故」「老衰」、男性では「肺炎」、女性では「自殺」の標準化死亡比が高くなっています。

図表 1-12 主要死因の標準化死亡比（SMR）

男性



女性

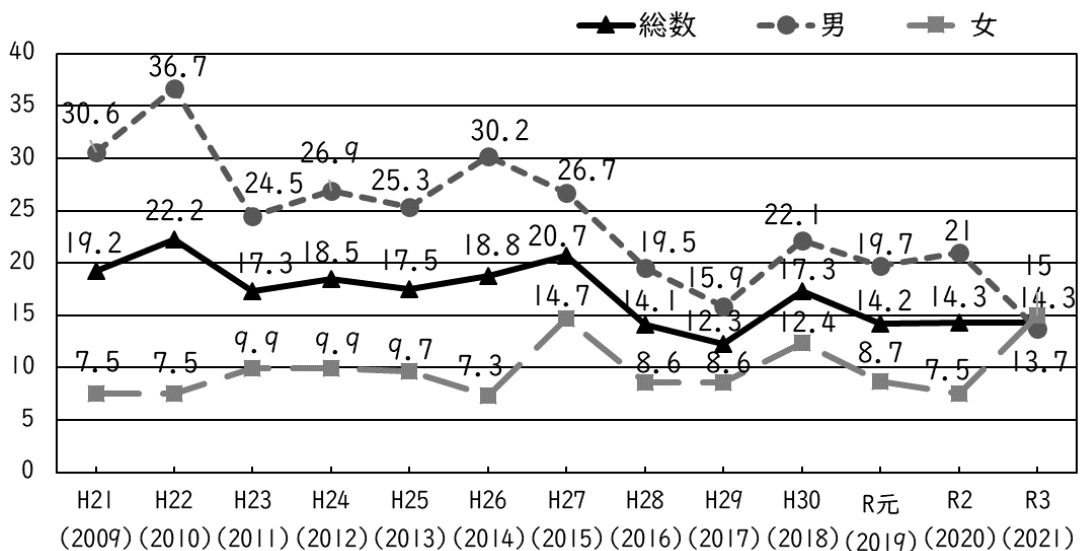


出典：厚生労働省 平成25年～平成29年 人口動態保健所・市区町村別統計

(5) 自殺死亡率の推移

自殺死亡率は増減を繰り返し、令和3年は14.3となり、長期的には減少しています。

図表 1-13 自殺死亡率の推移（自殺統計（自殺日、住居地））



※「自殺死亡率」とは、人口10万人当たりの年間自殺者の数です。

出典：地域自殺実態プロフィールより秦野市作成

3 健康・医療・介護などの状況

(1) 平均余命と平均自立期間

秦野市の平均余命は、令和4年度で男性が82.3年、女性が87.9年で、県・国と同程度となっています。

図表 1-14 平均余命と平均自立期間

		平均余命	平均自立期間	平均余命と平均自立期間の差
秦野市	男性	82.9	81.1	1.8
	女性	87.6	83.9	3.7
神奈川県	男性	82.1	80.4	1.7
	女性	87.9	84.5	3.4
全国	男性	81.5	80.0	1.5
	女性	87.6	84.3	3.3

出典：秦野市国民健康保険データベース（令和5年度）

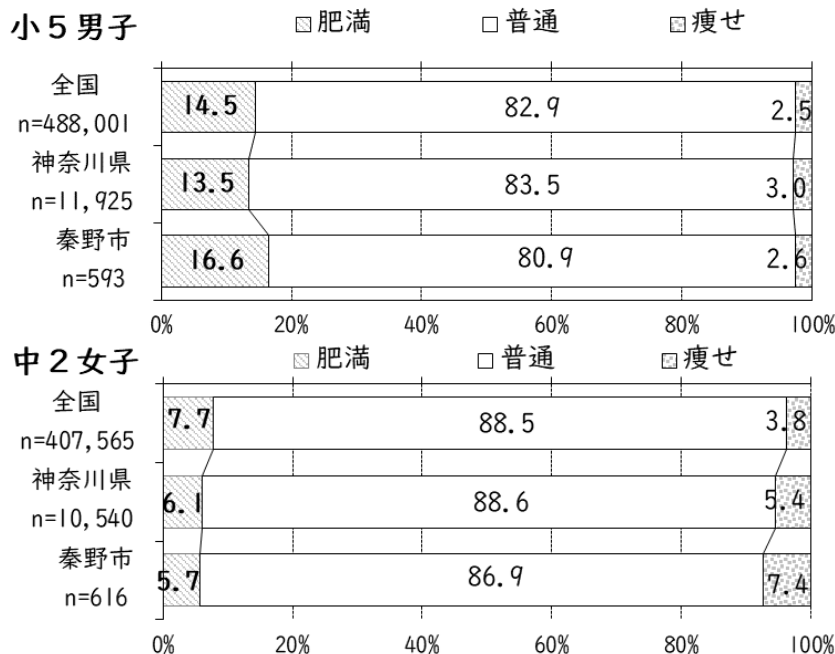
「平均余命」と「平均自立期間」

「平均余命」とは、ある年齢の人々が平均して今後何年生きられるかという年数（期待値）であり、「平均自立期間」とは、集団における各人の介護を要しない期間の平均値を指します。

(2) 児童・生徒の体格指数の状況

令和4年度の児童・生徒の体格指数は、小学5年生男子の肥満（16.6%）と中学2年生女子のやせ（7.4%）が、神奈川県や国と比べて多くなっています。

図表 1-15 児童・生徒の体格指数（BMI）

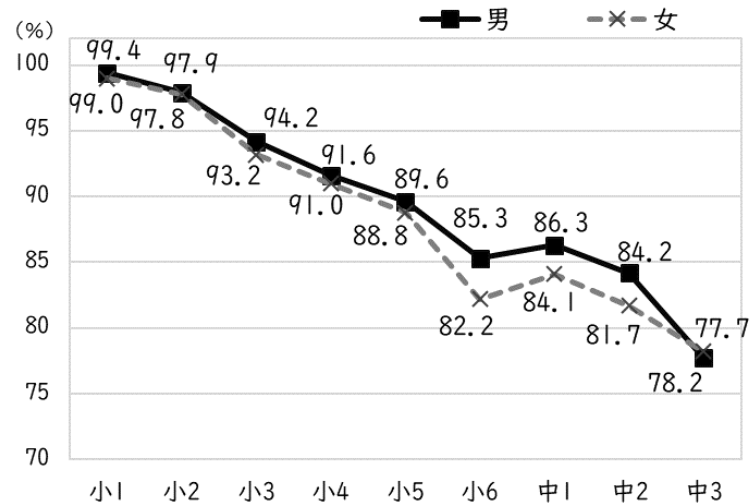


出典：全国体力・運動能力・運動習慣等調査（令和4年度）

(3) う歯（むし歯）のない児童・生徒の割合

永久歯のう歯のない児童の割合は、小学校1年生から学年を上がるにつれて、減少傾向にあります。令和3年度では、小学1年生の男児99.4%、女児99.0%、一方、中学3年生の男77.7%、女78.2%となっています。

図表 1-16 う歯のない児童・生徒の割合（性別）

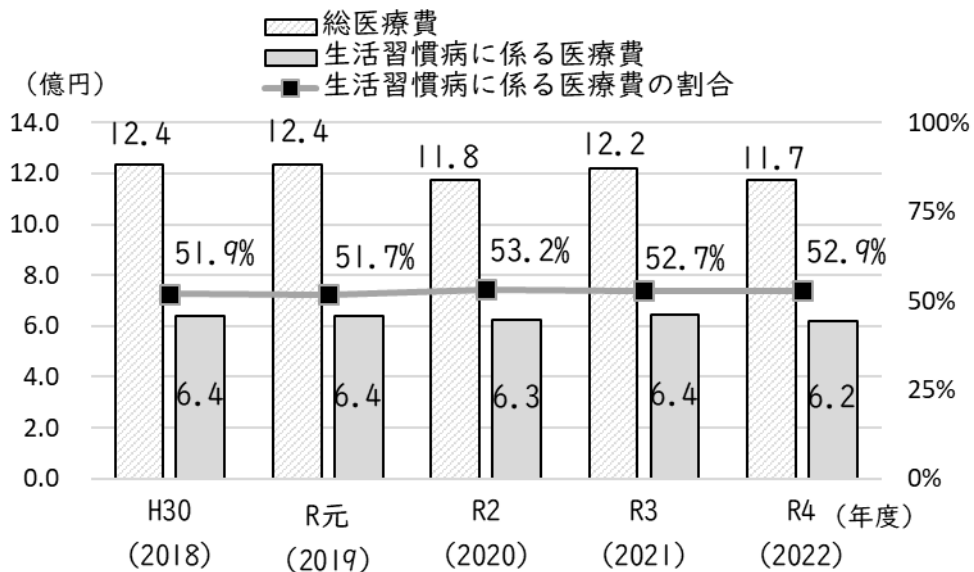


出典：学校保健統計調査（令和3年度）

(4) 国民健康保険の総医療費と生活習慣病に係る医療費の割合

秦野市国民健康保険被保険者の総医療費は、令和4年度では、約11億7千万円となっています。そのうち、生活習慣病に係る医療費は約半分を占めています。

図表 1-17 総医療費と生活習慣病に係る医療費の割合

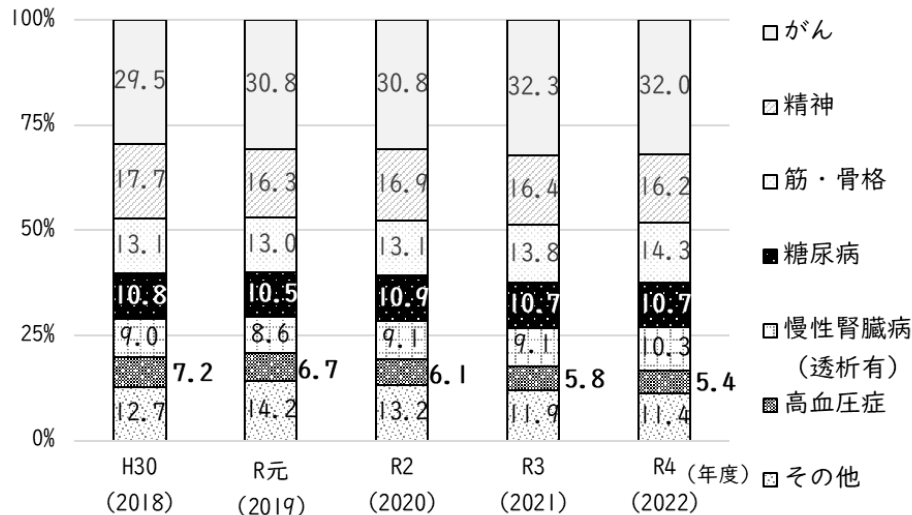


出典：秦野市国民健康保険データベース

(5) 医療費の疾病別割合

令和4年度は、「がん」(32.0%)、「精神」(16.2%)、「筋・骨格」(14.3%)、「糖尿病」(10.7%)、「慢性腎臓病」(10.3%)、「高血圧症」(5.4%)となっています。

図表 1-18 医療費の疾病別割合



出典：秦野市国民健康保険データベース(平成30年度～令和4年度)

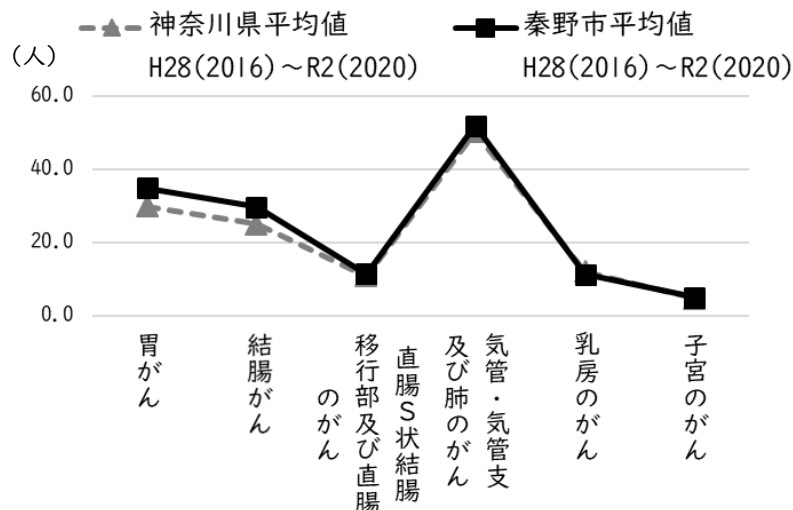
(6) がん死亡割合

本市のがん死亡割合(H28～R2 平均値)は、胃がん 34.9、結腸がん 29.8は県に比べてやや高く、直腸S状結腸移行部及び直腸のがん 11.5、気管・気管支炎及び肺のがん 51.9、乳房のがん 11.2、子宮のがん 5.1となり、県とほぼ同様です。

図表 1-19 がん検診項目別の死亡率(人口10万対)

(単位：人)

	胃がん	結腸がん	直腸S状結腸移行部及び直腸のがん	気管・気管支炎及び肺のがん	乳房のがん	子宮のがん
神奈川県平均値 H28(2016)～R2(2020)	29.9	25.1	10.9	50.2	12.1	4.7
秦野市平均値 H28(2016)～R2(2020)	34.9	29.8	11.5	51.9	11.2	5.1

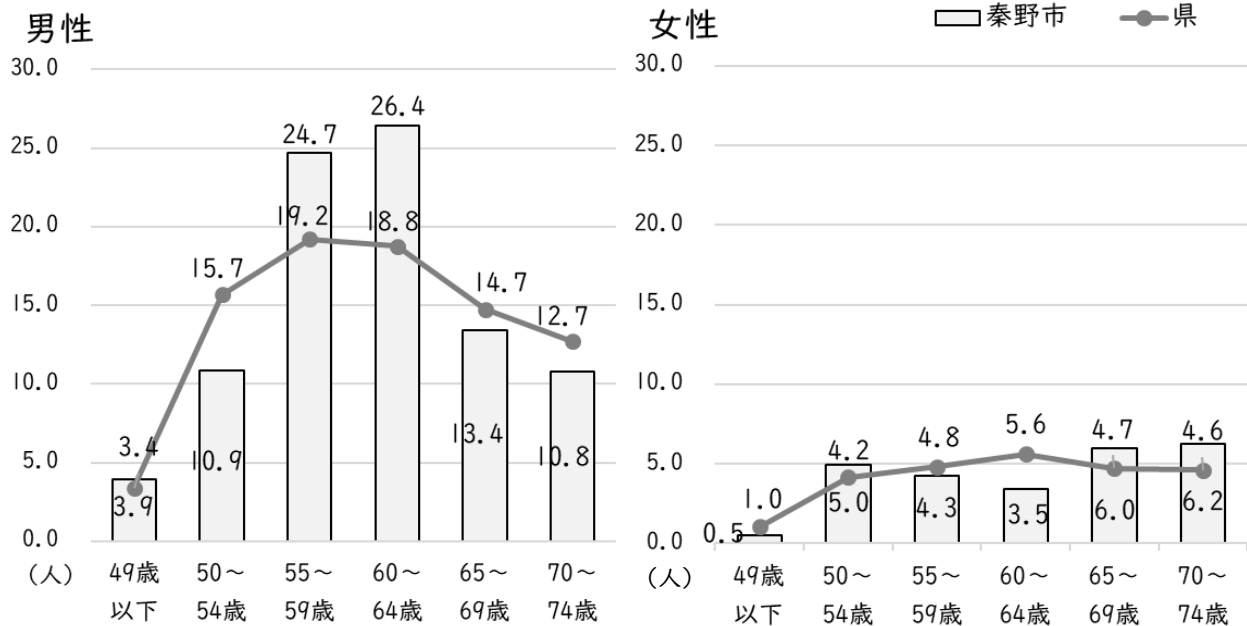


出典：神奈川県衛生統計年報

(7) 人工透析患者数の状況

人工透析患者の状況をみると、男性の55歳から59歳と60歳から64歳で、県と比べて多くなっています。

図表 1-20 人工透析患者数 性別年代別（患者千人あたり）

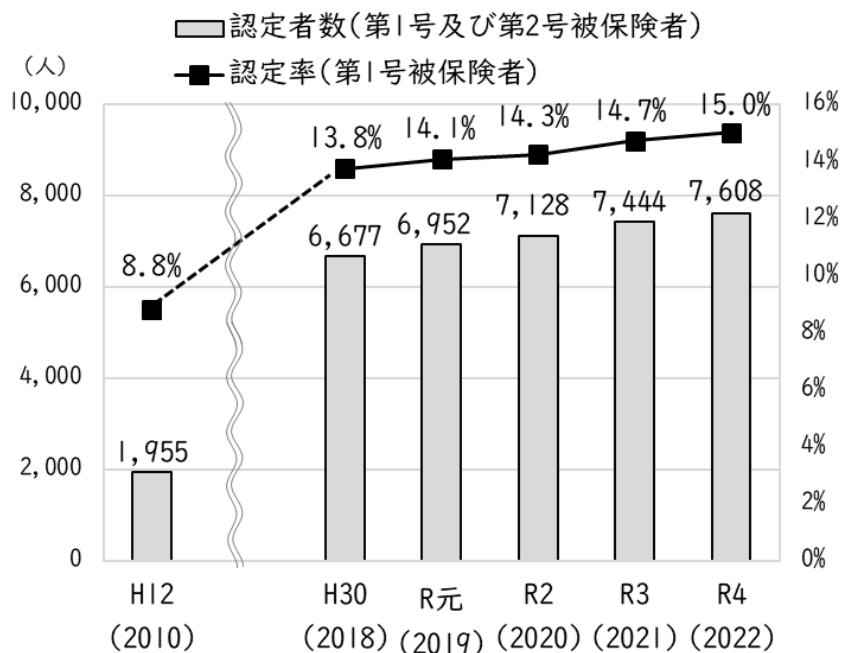


出典：秦野市国民健康保険データベース（令和4年度）

(8) 要介護・要支援認定者割合の推移

高齢者人口の増加により、要介護認定者数は増加傾向にあります。令和4年には、第1号被保険者における認定率は15.0%で、第1号及び第2号被保険者のうち7,608の方が要介護・要支援認定を受けています。

図表 1-21 要支援・要介護認定者数と認定率の状況

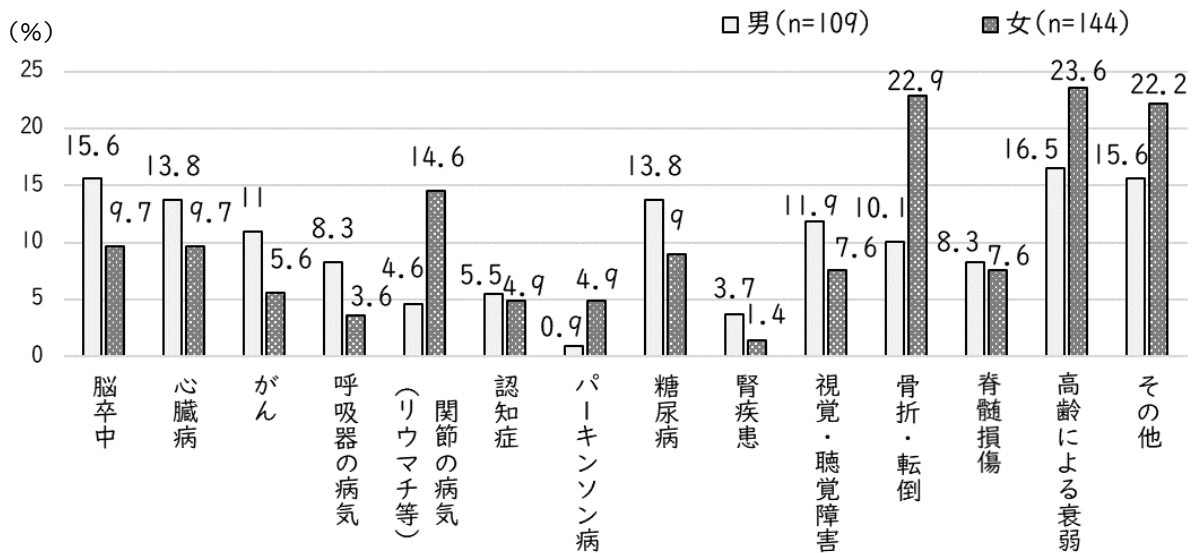


出典：秦野市健康づくり課調べ

(9) 介護等が必要になった理由

男女ともに高齢による衰弱が多くなっています。その他、男性は、脳卒中、心臓病、糖尿病の生活習慣病に起因するものが多く、女性は、骨折・転倒、関節の病気などの運動器の障害によるものが高くなっています。

図表 1-22 介護等が必要になった理由（性別）



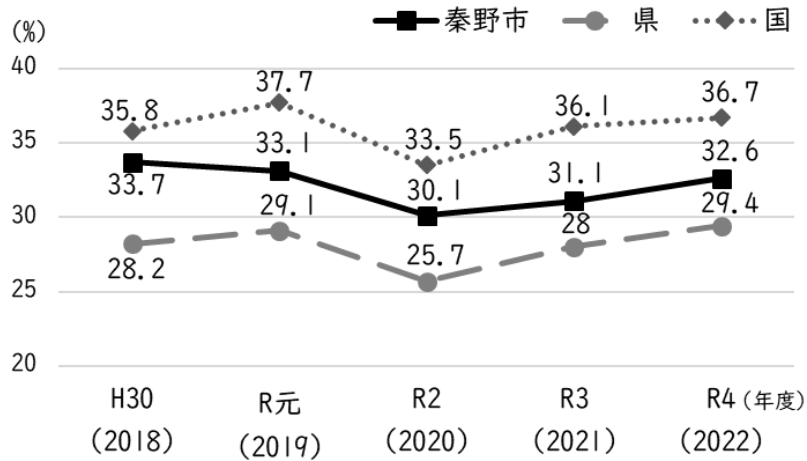
出典：介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（令和4年度）

4 健康診査などの状況

(1) 特定健康診査及び後期高齢者健康診査の受診状況

特定健康診査受診率は、国と比べて低く、県と比べると高く推移しており、令和4年度は32.6%となっています。

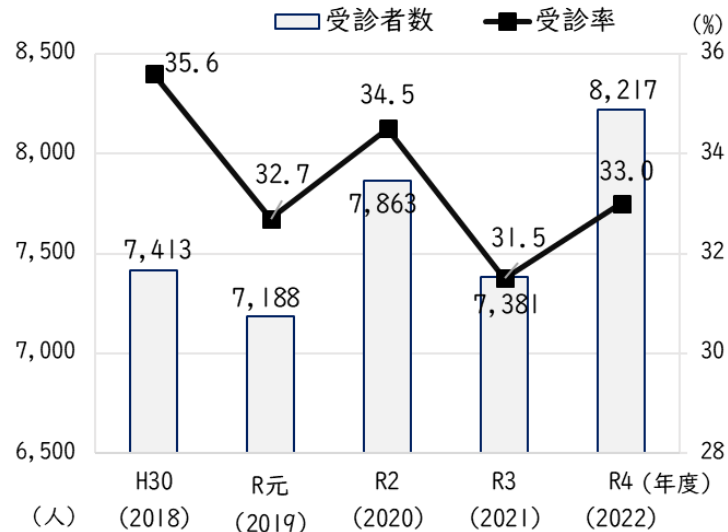
図表 1-23 特定健康診査受診率の推移



出典：秦野市国民健康保険データベース

後期高齢者健康診査の受診率は、30%台で推移しており、令和4年度は33%となっています。

図表 1-24 後期高齢者健康診査実施状況

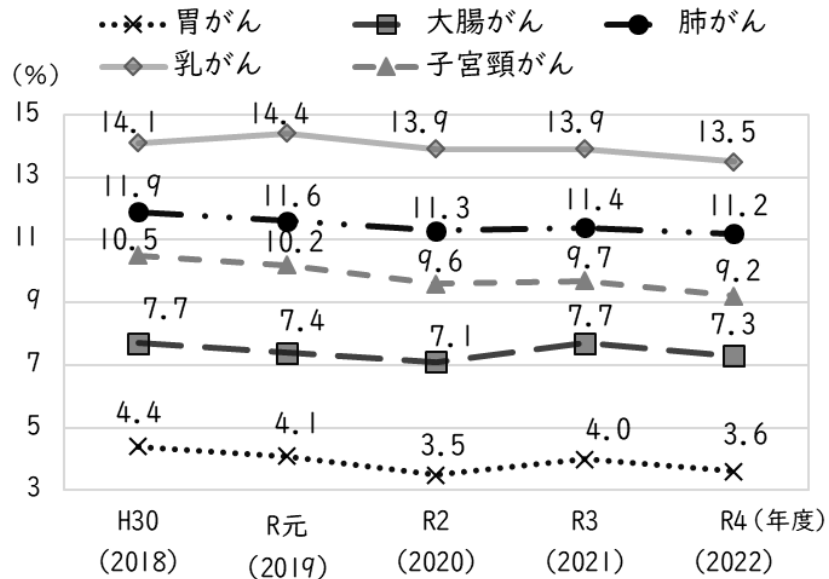


出典：秦野市保健衛生の概要

(2) 各種がん検診の受診状況

各種がん検診の受診率は、令和4年度では、乳がん13.5%、肺がん11.2%、子宮頸がん9.2%、大腸がん7.3%、胃がん3.6%となっています。

図表 1-25 各種がん検診の受診率の推移

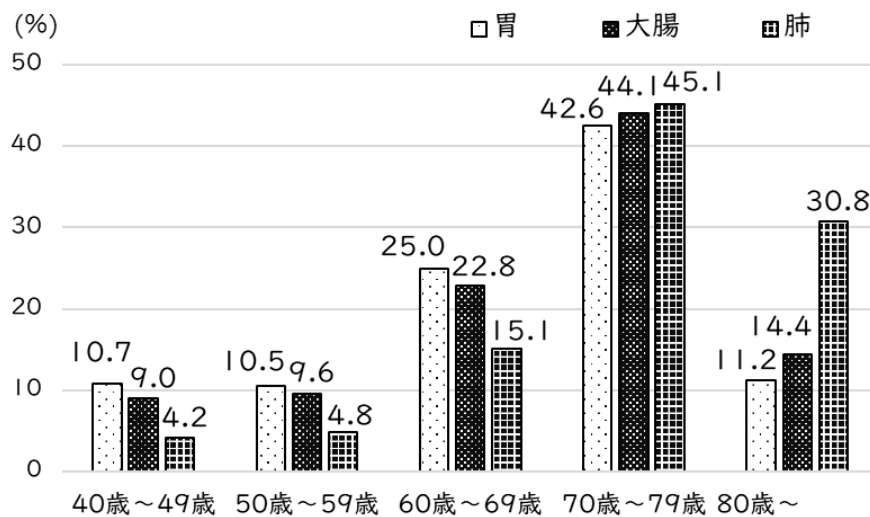


※ 乳がん及び子宮頸がんは、国の算定式を用いた2年に1回の受診率

出典：秦野市保健衛生の概要

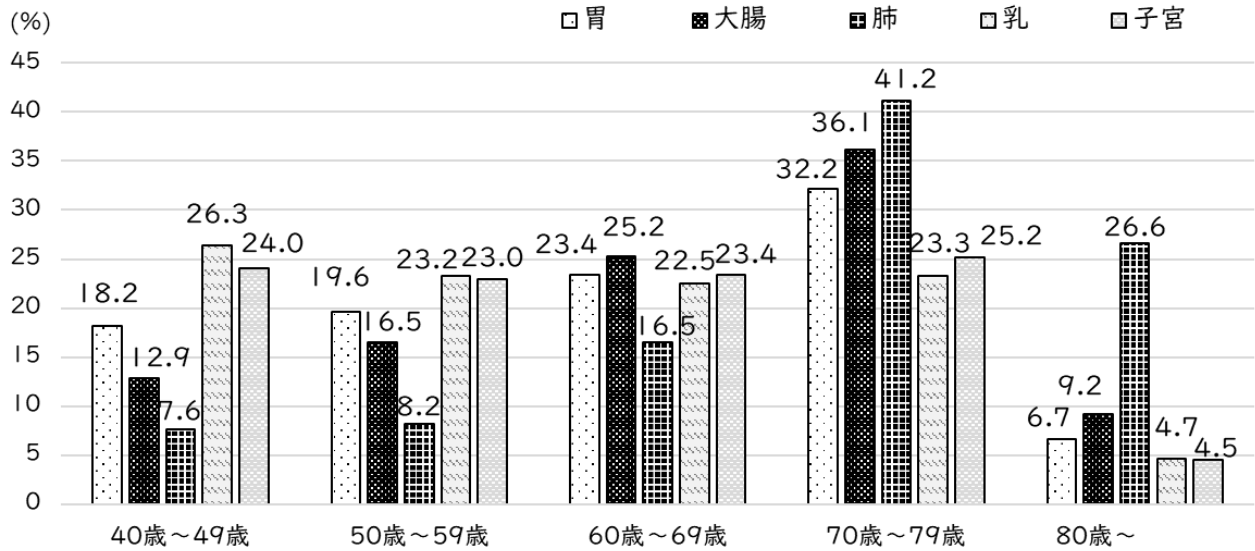
また、性別による各種がん検診受診割合では、男女ともに70代以降が高くなっています。

図表 1-26 がん検診受診割合（男性）



出典：秦野市健康づくり課調べ（令和4年度）

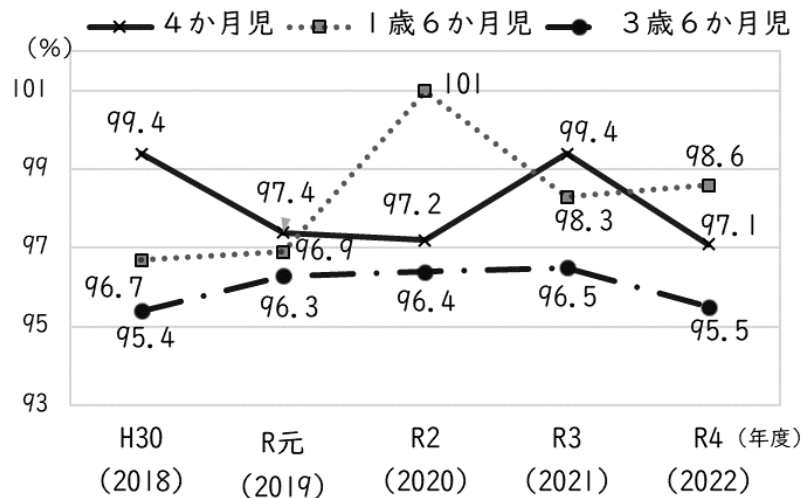
図表 1-27 がん検診受診割合（女性）



出典：秦野市健康づくり課調べ（令和4年度）

- (3) 4か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳6か月児健康診査の受診状況
各健康診査の受診率は、いずれも平成30年度から令和4年度にかけて9割を超えており、高い水準で推移しています。

図表 1-28 各乳児健診の受診率推移



- ※ 令和2年度の4か月健診受診率は、集団及び個別健診の総数から算出した値
※ 令和2年度の1歳6か月健診については、新型コロナウイルスの影響により、令和元年度の対象者を含み受診者を集計したため、101%となっています。

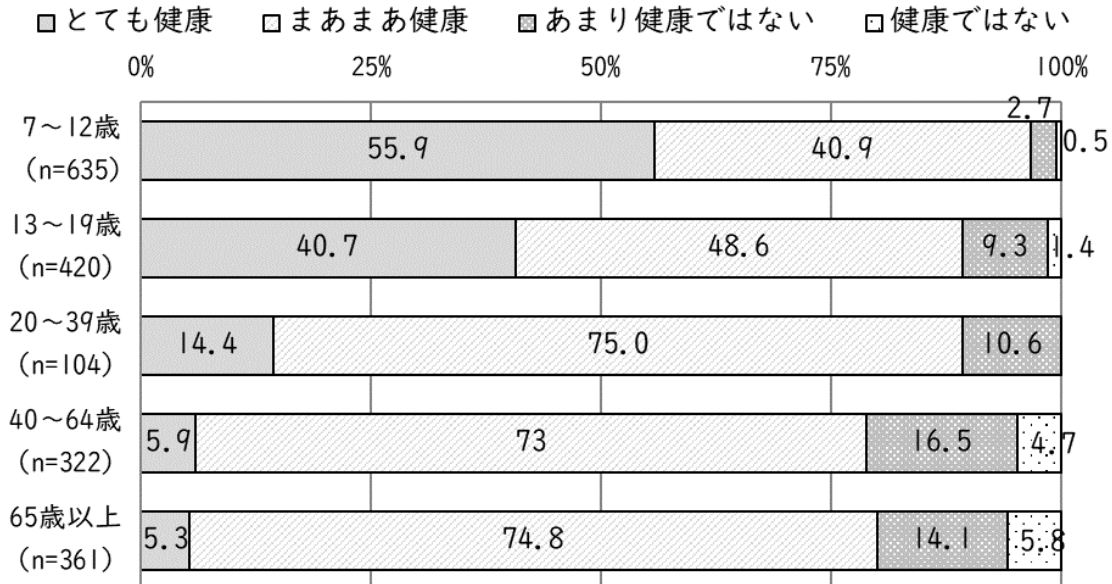
出典：秦野市保健衛生の概要

5 市民の健康状況

(1) 「自分が健康だと思う」市民の割合

令和4年度秦野市健康状況アンケートでは、「とても健康」「まあまあ健康」と答えた市民の割合は、いずれも約8割となっています。

図表 1-29 「自分が健康だと思う」市民の割合

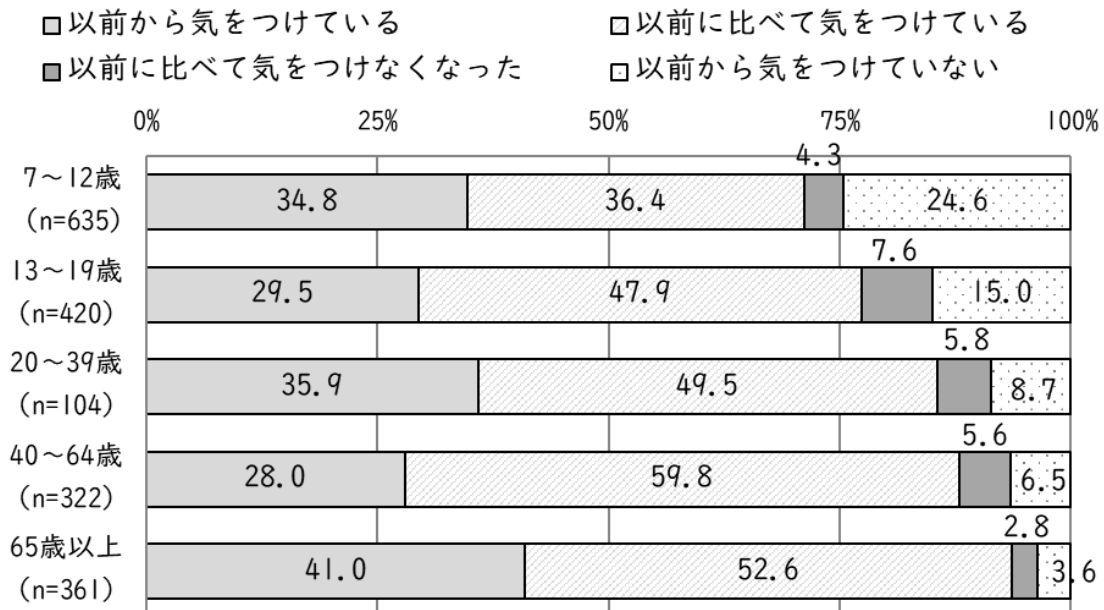


出典：秦野市健康状況アンケート（令和4年度）

(2) 「身体への健康に対する意識の変化」について

令和4年度秦野市健康状況アンケートでは、「以前から気をつけている」「以前に比べて気をつけている」と答えた市民は7割以上となっています。

図表 1-30 健康への関心



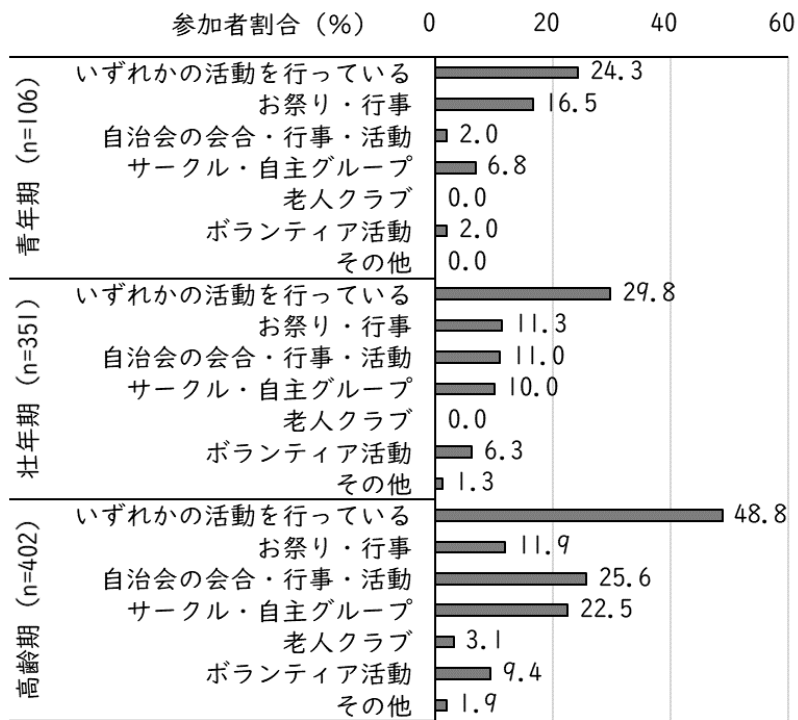
出典：秦野市健康状況アンケート（令和4年度）

(3) 「休日の過ごし方」や「日ごろの活動」について

令和4年度秦野市健康状況アンケートで、「休日の過ごし方」や「日ごろの活動」について聞いたところ、いずれかの活動に参加する市民は、各世代において半数以下でした。

また、地域活動を行っている人では、青年期では「お祭り・行事」16.5%が最も多く、壮年期では「お祭り・行事」「自治会の会合・行事・活動」「サークル・自主グループ」をしている人が1割程度となり、高齢期では「自治会の会合・行事・活動」「サークル・自主グループ」をしている人が2割程度となっています。

図表 1-31 地域活動を行っている人の内訳



出典：秦野市健康状況アンケート（令和4年度）